

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 A組～F組

教科担当者：A組～F組 神山 芽久美 吉坂 陸 吉川 裕太

使用教科書：（ ）

教科 保健体育 の目標： 体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成する。

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知技	思	態	配当 時数
1 学 期	A 体づくり運動 【知識及び技能】 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に合った運動の計画を立て取り組むこと。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保すること	・指導事項 (体ほぐしの運動、実生活に生かす運動の計画) ・教材 (教科書、プリント) ・ICT活用 等	【知識・技能】 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に合った運動の計画を立て取り組むことができる。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	8
	B 球技 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。	・指導事項 (バドミントン) ・教材 (教科書、プリント) ・ICT活用 等	【知識・技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 【思考・判断・表現】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	10
	定期考査	・定期考査					

<p>C 水泳</p> <p>【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項（クロール、平泳ぎ）</p> <p>・教材（教科書、プリント）</p> <p>・ICT活用 等</p>	<p>【知識・技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができる。</p>	○	○	○	16
定期考査		・定期考査				
<p>A 球技（男子）</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項（バスケットボール）</p> <p>・教材（教科書、プリント）</p> <p>・ICT活用 等</p>	<p>【知識・技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとするなどや、健康・安全を確保することができる。</p>	○	○	○	16
<p>A 球技（女子）</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項（ソフトボール）</p> <p>・教材（教科書、プリント）</p> <p>・ICT活用 等</p>	<p>【知識・技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとするなどや、健康・安全を確保することができる。</p>	○	○	○	16
<p>2 学期</p> <p>B 球技（男子）</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて</p>	<p>・指導事項（サッカー）</p> <p>・教材（教科書、プリント）</p> <p>・ICT活用 等</p>	<p>【知識・技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。</p>				

	<p>を元とし、自己や仲間の考えに合わせ、運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>											
	<p>B 球技（女子）</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項（バレーボール） ・教材（教科書、プリント） ・ICT活用 等 	<p>【知識・技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができる。</p>								16	
	<p>A 陸上競技</p> <p>【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとする、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項（長距離走） ・教材（教科書、プリント） ・ICT活用 等 	<p>【知識・技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとする、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができる。</p>								10	
3 学 期	<p>B 体育理論</p> <p>【知識】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項（スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展） ・教材（教科書、プリント） ・ICT活用 等 	<p>B 体育理論</p> <p>【知識】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むことができる。</p>								6	
											合計	82

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：3 単位

対象学年組：第2学年 A組～F組

教科担当者：A組～F組 水野莉奈 後藤勇太 神山芽久美 吉川裕太

使用教科書：（ ）

教科 保健体育 の目標： 体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成する。

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知技	思	態	配当 時数
A 体づくり運動 【知識及び技能】 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に合った運動の計画を立て取り組むこと。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること	・指導事項 (体ほぐしの運動、実生活に生かす運動の計画) ・教材 (教科書、プリント) ・ICT活用 等	【知識・技能】 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に合った運動の計画を立て取り組むことができる。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	8
A 球技（男子） 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること	・指導事項(バドミントン) ・教材(教科書、プリント) ・ICT活用 等	【知識・技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 【思考・判断・表現】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	
1 学期 B 球技（女子）※通年 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。	・指導事項(バドミントン) ・教材(教科書、プリント)	【知識・技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。				12

<p>い、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・ICT活用 等</p>	<p>どを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができる。</p>	○	○	○	
定期考査						
<p>C 水泳</p> <p>【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すること。</p>	<p>・定期考査</p> <p>・指導事項（クロール、平泳ぎ）</p> <p>・教材（教科書、プリント）</p> <p>・ICT活用 等</p>	<p>【知識・技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができる。</p>	○	○	○	12
定期考査						
<p>A 球技（男子）</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項（バスケットボール）</p> <p>・教材（教科書、プリント）</p> <p>・ICT活用 等</p>	<p>【知識・技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができる。</p>	○	○	○	
<p>A 球技（女子）</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、</p>	<p>・指導事項（ソフトボール）</p> <p>・教材（教科書、プリント）</p> <p>・ICT活用 等</p>	<p>【知識・技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の</p>	○	○	○	16

2 学 期	<p>フェアなプレイを大切にしようとする こと、作戦などについての話し 合いに貢献しようとする、一 人一人の違いに応じたプレイな どを大切にしようとする、互い に助け合い教え合おうとするこ となどや、健康・安全を確保する こと。</p>		<p>違いに応じたプレイなどを大切にしようとする こと、互いに助け合い教え合おうとするこ となどや、健康・安全を確保することが できる。</p>				
	<p>B 球技 (男子)</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わ い、技術の名称や行い方、体力の 高め方、運動観察の方法などを理 解するとともに、作戦に応じた技 能で仲間と連携しゲームを展開す ること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題 を発見し、合理的な解決に向けて 運動の取り組み方を工夫すると ともに、自己や仲間の考えたこと を他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、 フェアなプレイを大切にしよう とすること、作戦などについての話 合いに貢献しようとする、一 人一人の違いに応じたプレイな どを大切にしようとする、互い に助け合い教え合おうとするこ となどや、健康・安全を確保する こと。</p>	<p>・指導事項 (サッカー)</p> <p>・教材 (教科書、プリント)</p> <p>・ICT活用 等</p>	<p>【知識・技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の 名称や行い方、体力の高め方、運動観察の 方法などを理解するとともに、作戦に応じ た技能で仲間と連携しゲームを展開する ことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、 合理的な解決に向けて運動の取り組み方 を工夫するとともに、自己や仲間の考 えたことを他者に伝えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自主的に取り組むとともに、フェアな プレイを大切にしようとする、作戦 などについての話し合いに貢献し ようとする、一人一人の違いに 応じたプレイなどを大切にしよう とすること、互いに助け合い教 え合おうとすることなどや、健 康・安全を確保することができる。</p>	○	○	○	16
	<p>B 球技 (女子)</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わ い、技術の名称や行い方、体力の 高め方、運動観察の方法などを理 解するとともに、作戦に応じた技 能で仲間と連携しゲームを展開す ること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題 を発見し、合理的な解決に向けて 運動の取り組み方を工夫すると ともに、自己や仲間の考えたこと を他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、 フェアなプレイを大切にしよう とすること、作戦などについての話 合いに貢献しようとする、一 人一人の違いに応じたプレイな どを大切にしようとする、互い に助け合い教え合おうとするこ となどや、健康・安全を確保する こと。</p>	<p>・指導事項 (バレーボール)</p> <p>・教材 (教科書、プリント)</p> <p>・ICT活用 等</p>	<p>【知識・技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の 名称や行い方、体力の高め方、運動観察の 方法などを理解するとともに、作戦に応じ た技能で仲間と連携しゲームを展開する ことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、 合理的な解決に向けて運動の取り組み 方を工夫するとともに、自己や仲 間の考えたことを他者に伝える ことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自主的に取り組むとともに、フェア なプレイを大切にしようとする、 作戦などについての話し合いに 貢献しようとする、一人一人の 違いに応じたプレイなどを大切 にしようとする、互いに助け合 い教え合おうとすることなど や、健康・安全を確保するこ とができる。</p>	○	○	○	
<p>A 陸上競技</p> <p>【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜 びを味わい、技術の名称や行い 方、体力の高め方、運動観察の 方法などを理解するとともに、各 種目特有の技能を身に付けるこ と。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を 発見し、合理的な解決に向けて 運動の取り組み方を工夫すると ともに、自己の考えたことを他 者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むと ともに、勝敗などを冷静に受け 止め、ルールやマナーを大切に し、自己の責任を果たそうとす ること、一人一人の違いに応じ た課題や挑戦を大切にしようと することなどや、健康・安全を 確保すること</p>	<p>・指導事項 (長距離走)</p> <p>・教材 (教科書、プリント)</p> <p>・ICT活用 等</p>	<p>【知識・技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わ い、技術の名称や行い方、体力の高め方、 運動観察の方法などを理解するとともに、 各種目特有の技能を身に付けることが できる。</p> <p>【思考・判断・表現】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、 合理的な解決に向けて運動の取り組み 方を工夫するとともに、自己の考 えたことを他者に伝えるこ とができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 陸上競技に自主的に取り組むと ともに、勝敗などを冷静に受け 止め、ルールやマナーを大切 にしようとする、自己の責任 を果たそうとすること、一人 一人の違いに応じた課題や 挑戦を大切にしようとする ことなどや、健康・安全を 確保することができる。</p>	○	○	○		
3 学 期							12

<p>B 体育理論</p> <p>【知識】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むこと。</p>	<p>・指導事項 (スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展)</p> <p>・教材 (教科書, プリント)</p> <p>・ICT活用 等</p>	<p>B 体育理論</p> <p>【知識】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むことができる。</p>	○	○	○	6
						合計
						82

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 保健体育 科目

教科： 保健体育 科目： 体育 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ F 組

教科担当者： A組～F組 水野莉奈 後藤勇太 神山芽久美 吉坂陸 吉川裕太

使用教科書：（ ）

教科 保健体育 の目標： 体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成する。

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知技	思	態	配当 時数
1 学 期	A 体づくり運動 【知識及び技能】 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むこと。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を	・指導事項 (体ほぐしの運動、実生活に生かす運動の計画) ・教材 (教科書、プリント) ・ICT活用 等	【知識・技能】 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むことができる。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	6
	B 球技 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについて話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとするなどや、健康・安全を確保すること。	・指導事項 (サッカー・バスケット・硬式テニス・バドミントン・モルック) ・教材 (教科書、プリント) ・ICT活用 等	【知識・技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 【思考・判断・表現】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについて話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとするなどや、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	17
	A 球技 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】	・指導事項 (サッカー・バスケット・硬式テニス・バドミントン・モルック) ・教材 (教科書、プリント) ・ICT活用 等	【知識・技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 【思考・判断・表現】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫す				

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 保健体育 科目

教科： 保健体育 科目： スポーツ総合 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ F 組 選択者

教科担当者： A組～F組 水野莉奈 後藤勇太 吉坂陸

使用教科書：（ ）

教科 保健体育 の目標： 体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成する。

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 指導案作成 【知識及び技能】 リーダーとして、その種目の特性を理解し指導案を作成する知識や技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 リーダーとして、生徒の運動量とその種目の特性が十分味わえるような指導案を作成する。 【学びに向かう力、人間性等】 グループで協力して指導案を作成できる。	・指導事項（各グループの選択科目） ・教材（教科書、プリント） ・ICT活用 等	A 指導案作成 【知識及び技能】 リーダーとして、その種目の特性を理解し指導案を作成する知識や技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 リーダーとして、生徒の運動量とその種目の特性が十分味わえるような指導案を作成する。 【学びに向かう力、人間性等】 グループで協力して指導案を作成できる。	○	○	○	4
	B 球技 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。	・指導事項（サッカー・バスケット・硬式テニス・バドミントン・バレーボール・ソフトボール・ドッジボール） ・教材（教科書、プリント） ・ICT活用 等	【知識・技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 【思考・判断・表現】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	10
	A 指導案作成 【知識及び技能】 リーダーとして、その種目の特性を理解し指導案を作成する知識や技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 リーダーとして、生徒の運動量とその種目の特性が十分味わえるような指導案を作成する。 【学びに向かう力、人間性等】 グループで協力して指導案を作成できる。	・指導事項（各グループの選択科目） ・教材（教科書、プリント） ・ICT活用 等	A 指導案作成 【知識及び技能】 リーダーとして、その種目の特性を理解し指導案を作成する知識や技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 リーダーとして、生徒の運動量とその種目の特性が十分味わえるような指導案を作成する。 【学びに向かう力、人間性等】 グループで協力して指導案を作成できる。	○	○	○	4

	<p>【学びに向かう力、人間性等】 グループで協力して指導案を作成できる。</p>						
2 学 期	<p>B 球技 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項（サッカー・バスケット・硬式テニス・バドミントン・バレーボール・ソフトボール・ドッジボール） ・教材（教科書、プリント） ・ICT活用 等</p>	<p>【知識・技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 【思考・判断・表現】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができる。</p>	○	○	○	24
3 学 期	<p>B 体育理論 【知識】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むこと。</p>	<p>・指導事項（スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展） ・教材（教科書、プリント） ・ICT活用 等</p>	<p>B 体育理論 【知識】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むことができる。</p>	○	○	○	4
						46	

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 A組～ F組

教科担当者：（A組：吉坂陸）（B組：神山芽久美）（C組：吉坂陸）（D組：吉坂陸）（E組：水野莉奈）（F組：神山芽久美）

使用教科書：（現代高等保健体育（大修館書店）、現代高等保健体育ノート（大修館書店））

教科 保健体育 の目標： 体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成する。

【知識及び技能】 現代社会と健康、安全な社会生活、生涯を通じる健康、健康を支える環境づくりについて、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。

【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康、安全な社会生活、生涯を通じる健康、健康を支える環境づくりについて、課題の解決を目指して総合的に考え、判断し、それらを表している。

【学びに向かう力、人間性等】 現代社会と健康、安全な社会生活、生涯を通じる健康、健康を支える環境づくりについて関心をもち、主体的に学習に取り組もうとする。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 現代社会と健康 【知識及び技能】 国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていることについて理解したことを言ったり書き出したりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 健康は、様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っている健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 【学びに向かう力、人間性等】 健康の考え方についての学習に主体的に取り組もうとしている。	・指導事項（健康の考え方） ・教材（教科書、プリント） ・ICT活用 ・ワークシート等	【知識・技能】 ①国民の健康水準の向上について理解したことを言ったり書き出したりしている。 ②疾病構造の変化について理解したことを言ったり書き出したりしている。 【思考・判断・表現】 ①健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①健康の考え方についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
	B 現代社会と健康 【知識及び技能】 生活習慣病やがんが身近な病気であることや、生活習慣病やがんの予防、早期発見・検診等 について関心をもち、正しい知識について理解したことを言ったり書き出したりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 生活習慣病について理解を深め、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 【学びに向かう力、人間性等】 生活習慣病やがんについての学習に主体的に取り組もうとしている。	・指導事項（健康の保持増進と疾病の予防） ・教材（教科書、プリント） ・ICT活用 ・ワークシート等	【知識・技能】 ①生活習慣病について理解したことを言ったり書き出したりしている。 ②がんについて理解したことを言ったり書き出したりしている。 【思考・判断・表現】 ①生活習慣病に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①生活習慣病やがんについての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	定期考査	・定期考査					
	C 現代社会と健康 【知識及び技能】 健康の保持増進と生活習慣病の予防には、食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践する必要があることと喫煙、飲酒、薬物乱用の危険性について関心をもち、正しい知識について理解したことを言ったり書き出したりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 健康の保持増進と生活習慣病に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①健康の保持増進と生活習慣病に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。	・指導事項（健康の保持増進と疾病の予防） ・教材（教科書、プリント） ・ICT活用 ・ワークシート等	【知識・技能】 ①食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践する必要があることと喫煙、飲酒、薬物乱用の危険性について理解したことを言ったり書き出したりしている。 【思考・判断・表現】 ①健康の保持増進と生活習慣病に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。				

	<p>もち、正しい知識について理解したことを言ったり書き出したりしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 健康の保持増進と生活習慣病の予防について理解を深め、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 健康の保持増進と生活習慣病の予防に必要な食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活や喫煙、飲酒、薬物乱用の危険性についての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ①健康の保持増進と生活習慣病の予防に必要な食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活や喫煙、飲酒、薬物乱用の危険性についての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	4	
	定期考査	・定期考査					
2 学 期	<p>D 現代社会と健康</p> <p>【知識及び技能】 精神疾患（うつ病、統合失調症、不安症、摂食障害など）は、誰もが罹患しうることを理解する。予防と回復には調和のとれた生活の実践することが重要なことを理解する。心身の不調時には不安・抑うつ・焦燥・不眠などの精神活動の変化が通常時より強く持続的に生じること、早期発見と治療や支援の早期の開始によって回復可能性が高まることを理解する。正しい知識について理解したことを言ったり書き出したりしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 精神疾患（うつ病、統合失調症、不安症、摂食障害など）の予防と回復について、習得した知識を基に、心身の健康を保ち、不調に早く気付くために必要な個人の取組や社会的対策を整理している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 精神疾患の特徴、その予防、そこからの回復についての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>・指導事項（精神疾患の特徴、精神疾患の予防、精神疾患からの回復）</p> <p>・教材（教科書、プリント）</p> <p>・ICT活用</p> <p>・ワークシート等</p>	<p>【知識及び技能】 ①精神疾患（うつ病、統合失調症、不安症、摂食障害など）は、誰もが罹患しうることを理解する。予防と回復には調和のとれた生活の実践することが重要なことを理解する。心身の不調時には不安・抑うつ・焦燥・不眠などの精神活動の変化が通常時より強く持続的に生じること、早期発見と治療や支援の早期の開始によって回復可能性が高まることを理解する。正しい知識について理解したことを言ったり書き出したりしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ①精神疾患（うつ病、統合失調症、不安症、摂食障害など）の予防と回復について、習得した知識を基に、心身の健康を保ち、不調に早く気付くために必要な個人の取組や社会的対策を整理している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ①精神疾患の特徴、その予防、そこからの回復についての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	4
	<p>E 現代社会と健康</p> <p>【知識及び技能】 感染症は、新興感染症や再興感染症の発生や流行があることを理解する。予防するには社会的対策とともに個人の取組が重要であることを理解する。エイズや性感染症についても理解を深める。正しい知識について理解したことを言ったり書き出したりしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 感染症の発生や流行には時代や地域によって違いが見られることについて、事例を通して整理し、感染のリスクを軽減するための個人の取組及び社会的な対策に応用するなど、自他や社会の課題を発見している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 感染症の種類、エイズや性感染症とその予防、個人の対策や社会的対策の環境づくりなどの学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>・指導事項（現代の感染症、感染症の予防、性感染症・エイズとその予防、健康に関する意志決定・行動選択、健康に関する環境づくり）</p> <p>・教材（教科書、プリント）</p> <p>・ICT活用</p> <p>・ワークシート等</p>	<p>【知識及び技能】 ①感染症は、新興感染症や再興感染症の発生や流行があることを理解する。予防するには社会的対策とともに個人の取組が重要であることを理解する。エイズや性感染症についても理解を深める。正しい知識について理解したことを言ったり書き出したりしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ①感染症の発生や流行には時代や地域によって違いが見られることについて、事例を通して整理し、感染のリスクを軽減するための個人の取組及び社会的な対策に応用するなど、自他や社会の課題を発見している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ①感染症の種類、エイズや性感染症とその予防、個人の対策や社会的対策の環境づくりなどの学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	4
	定期考査	・定期考査					
3 学 期	<p>F 安全な社会生活</p> <p>【知識及び技能】 安全な社会づくりには、環境の整備とそれに応じた個人の取組が必要であること。また、交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備が関わること。交通事故には補償をはじめとした責任が生じることと言ったり書き出したりしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会生活における事象や情報などに、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見することができる。交通安全について、習得した知識を基に、事故に繋がる危険を予測し回避するための自他や社会の取組を評価することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 事故の発生には人的要因と環境要因が関連していること。交通事故を防止するには、個人の適切な行動、車両特性の理解、交通環境の整備、補償をはじめとした法的責任などを主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>・指導事項（事故の現状と発生要因、安全な社会の形成、交通における安全）</p> <p>・教材（教科書、プリント）</p> <p>・ICT活用</p> <p>・ワークシート等</p>	<p>【知識及び技能】 ①安全な社会づくりには、環境の整備とそれに応じた個人の取組が必要であること。また、交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備が関わること。交通事故には補償をはじめとした責任が生じることと言ったり書き出したりしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ①安全な社会生活における事象や情報などに、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見することができる。交通安全について、習得した知識を基に、事故に繋がる危険を予測し回避するための自他や社会の取組を評価することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ①事故の発生には人的要因と環境要因が関連していること。交通事故を防止するには、個人の適切な行動、車両特性の理解、交通環境の整備、補償をはじめとした法的責任などを主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	4
	<p>F 安全な社会生活</p> <p>【知識及び技能】 適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を防いだり、傷病者の苦痛を緩和したりすることを理解する。日常生活でおこる傷害に対し応急手当ができるようにする。心肺蘇生法の方法や手順に</p>	<p>・指導事項（応急手当の意義とその基本、日常的な応急手当、心肺蘇生法）</p> <p>・教材（教科書、プリント）</p> <p>・ICT活用</p> <p>・ワークシート等</p>	<p>【知識及び技能】 ①適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を防いだり、傷病者の苦痛を緩和したりすることを理解する。日常生活でおこる傷害に対し応急手当ができるようにする。心肺蘇生法の方法や手順について言ったり書き出したりし、実習にも積</p>				

<p>について言ったり書き出したりし、実習にも積極的に取り組んでいる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 応急手当について、習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための適切な方法に応用したり、安全な社会生活について自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったりして筋道をたてて説明することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 適切な応急手当の意義。日常生活でおこる傷害や熱中症などの方法や手順。AEDなどを用いての心肺蘇生法の方法や手順の学びに主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>積極的に取り組んでいる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ①応急手当について、習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための適切な方法に応用したり、安全な社会生活について自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったりして筋道をたてて説明することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ①適切な応急手当の意義。日常生活でおこる傷害や熱中症などの方法や手順。AEDなどを用いての心肺蘇生法の方法や手順の学びに主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	4
定期考査	・定期考査				
					合計
					27

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位

対象学年組：第2学年 A組～F組

教科担当者：（A組：吉川祐太）（B組：吉川祐太）（C組：後藤勇太）（D組：吉川祐太）（E組：後藤勇太）（F組：後藤勇太）

使用教科書：（現代高等保健体育（大修館書店）、現代高等保健体育ノート（大修館書店））

教科 保健体育 の目標： 体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成する。

【知識及び技能】 現代社会と健康、安全な社会生活、生涯を通じる健康、健康を支える環境づくりについて、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。

【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康、安全な社会生活、生涯を通じる健康、健康を支える環境づくりについて、課題の解決を目指して総合的に考え、判断し、それらを表している。

【学びに向かう力、人間性等】 現代社会と健康、安全な社会生活、生涯を通じる健康、健康を支える環境づくりについて関心をもち、主体的に学習に取り組もうとする。

科目 保健 の目標： 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 応急手当の意義 【知識及び技能】 適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を防いだり、傷病者の苦痛を緩和したりすることを理解できるようにする。また、自他の生命や身体を守り、不慮の事故災害に対応できる社会をつくるには、一人一人が適切な連絡・通報や運搬も含む応急手当の手順や方法を身に付けるとともに、自ら進んで行う態度が必要であること、さらに、社会の救急体制の整備を進めること、救急体制を適切に利用することが必要であることを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会生活に関わる事象や情報から課題を発見し、傷害の悪化を防止する方法を選択し、安全な社会の実現に向けてそれらを説明することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 応急手当の考え方についての学習に主体的に取り組もうとしている。	・指導事項 ・教材（教科書、プリント） ・ICT活用 ・ワークシート等	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 ノートの記載状況 【主体的に学習に取り組む態度】 授業態度や出席状況。	○	○	○	3
	B 日常的な応急手当 【知識及び技能】 日常生活で起こる傷害や、熱中症などの疾病の際には、それに応じた体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることを、実習を通して理解し、応急手当ができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 応急手当について、習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための適切な方法に应用すること。 【学びに向かう力、人間性等】 日常的な応急手当についての学習に主体的に取り組もうとしている。	・指導事項 ・教材（教科書、プリント） ・ICT活用 ・ワークシート等	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 ノートの記載状況 【主体的に学習に取り組む態度】 授業態度や出席状況。	○	○	○	3
	定期考査	・定期考査					
	C 心肺蘇生法 【知識及び技能】 心肺停止状態においては、急速に回復の可能性が失われつつあり、速やかな気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED（自動体外式除細動器）の使用などが必要であること、及び方法や手順について、実習を通して理解し、AED		【知識・技能】				

	<p>などを用いて心肺蘇生法ができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 応急手当について、習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための適切な方法に応用できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 心肺蘇生法についての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・教材（教科書、プリント） ・ICT活用 ・ワークシート等 	<p>定期考査</p> <p>【思考・判断・表現】 ノートの記載状況</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業態度や出席状況。</p>	○	○	○	3
	定期考査	・定期考査					
	<p>D 思春期と健康</p> <p>【知識及び技能】 思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることを理解できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 思春期と健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・教材（教科書、プリント） ・ICT活用 ・ワークシート等 	<p>【知識・技能】 定期考査</p> <p>【思考・判断・表現】 ノートの記載状況</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業態度や出席状況。</p>	○	○	○	6
	<p>E 結婚生活と健康</p> <p>【知識及び技能】 結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解できるようにする。その際、受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について理解できるようにするとともに、健康課題には年齢や生活習慣などが関わることについて理解できるようにする。また、家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについても理解できるようにする。また、結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、及び母子の健康診査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることを理解できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理する。</p> <p>・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 結婚生活と健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項（現代の感染症、感染症の予防、性感染症・エイズとその予防、健康に関する意志決定・行動選択、健康に関する環境づくり） ・教材（教科書、プリント） ・ICT活用 ・ワークシート等 	<p>【知識・技能】 定期考査</p> <p>【思考・判断・表現】 ノートの記載状況</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業態度や出席状況。</p>	○	○	○	6
	定期考査	・定期考査					
2 学 期	<p>F 加齢と健康</p> <p>【知識及び技能】 中高年期を健やかに過ごすためには、若いときから、健康診断の定期的な受診などの自己管理を行うこと、生きがいをもつこと、運動やスポーツに取り組むこと、家族や友人などとの良好な関係を保つこと、地域における交流をもつことなどが関係することを理解できるようにする。また、高齢期には、加齢に伴い、心身の機能や形態が変化すること、その変化には個人差があること、疾病や事故のリスクが高まること、健康の回復が長期化する傾向にあることについて理解できるようにする。さらに、高齢社会では、認知症を含む疾病等への対処、事故の防止、生活の質の保持、介護などの必要性が高まることなどから、保健・医療・福祉の連携と総合的な対策が必要であることを理解できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 加齢と健康についての学習に主体的</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・教材（教科書、プリント） ・ICT活用 ・ワークシート等 	<p>【知識・技能】 定期考査</p> <p>【思考・判断・表現】 ノートの記載状況</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業態度や出席状況。</p>	○	○	○	3
	<p>G 労働と健康</p> <p>【知識及び技能】 労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変化してきたことを理解できるようにする。また、労働災害を防止するには、作業形態や作業環境の</p>						

<p>改善、長時間労働をはじめとする過重労働の防止を含む健康管理と安全管理が必要であることを理解できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・労働災害と健康について、習得した知識を基に、労働災害の防止に向けて、個人の取組と社会的対策を整理する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 労働と健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・教材（教科書、プリント） ・ICT活用 ・ワークシート等 	<p>【知識・技能】 定期考査</p> <p>【思考・判断・表現】 ノートの記載状況</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業態度や出席状況。</p>	○	○	○	4
定期考査	・定期考査					
<p>6 働く人の健康の保持増進</p> <p>【知識及び技能】 ・働く人の健康の保持増進は、職場の健康管理や安全管理とともに、心身両面における総合的、積極的な対策の推</p>						